

■ (一社) 日本機械設計工業会 試験センター から
お申込みにあたってのお願い (団体) ■

1. **本人確認用顔写真について**

令和3年度より「写真票」を廃止し、**WEB申請時にデジタルデータの顔写真を提出**していただくことになりました。

これにより写真票提出が遅れて受験できなくなる、などが防げます。デジタルデータの顔写真はスマホやデジカメで撮影した簡単なもので構いません。申請前に準備をお願いします。なお団体申請の場合は、写真（画像ファイル）に受験者のお名前を付けていただく必要があります（詳細はデジタル団体申請マニュアルを参照）。

2. **新型コロナウイルスの影響について**

会場変更など不測の事態が起きた場合はホームページやメール通知などですぐにお知らせする予定です。

受験者の皆様も、日ごろの健康に留意いただき試験当日を迎えられるようご準備ください。マスク着用は各自で判断し**体調がすぐれない場合は来場を控えるなど**ご協力をお願いします。

3. **個人メールアドレス記載をお願いします**

令和2年度から受付システムを改修し、申請者個人のマイページを設置できるようになりました。入金状況、受験票発送状況や合否情報をご確認いただける便利な機能です。マイページ作成にはメールアドレスが必要です。**団体申請の際は、申請者個人のメールアドレスも記載してください、ご協力をお願いします。**

4. **団体申請で申請者を追加したい場合**

申請完了後、受験者を追加することが可能です。詳細はデジタル団体申請マニュアルの表紙を参照してください。

令和7年度（第31回）機械設計技術者試験 受験案内（デジタル団体申請用）

この案内は、デジタル団体申請を行う方対象の文書です。個人申請の場合は、Web上の個人申請ページから申請手続きを行ってください。団体での申請方法は原則を「デジタル団体申請」とし、パソコンもしくはMicrosoft Excelやメールを使用することができない団体の方は、試験センター（03-6222-9310）に問合せをお願いします。

なお、「団体申請」とは1回の申請手続きで2名以上の申請を行うこととし、1名での団体申請の場合、Web上の個人申請から再提出をお願いする場合がありますのでご了承下さい。

また、団体申請の場合、受験票の一括送付以外は行っておりません（申請者個々には送付しない）ので併せてご了承下さい。

1. 試験の内容

(1) 受験区分

1 級機械設計技術者

機械及び装置の基本仕様決定に必要な計算、構想図の作成等の基本設計業務を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

2 級機械設計技術者

基本設計に基づき、機械及び装置の機能・構造・機構等の具体化を図る計画設計を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

3 級機械設計技術者

機械や装置の詳細設計業務の補佐、並びに関連する製図などの業務を行える能力に達した技術者を対象とした試験を行う。

(2) 試験問題の形式

- 1 級 多肢選択式、記述、小論文
- 2 級 多肢選択式、記述
- 3 級 多肢選択式、

採点の都合上、マークシート方式を使用する場合があります。

(3) 試験科目

1 級機械設計技術者

設計管理関連課題	機械設計に関わる管理・情報等に対する知識
機械設計基礎課題	機械設計の基本となる計算課題を含む知識
環境経営関連課題	機械設計の管理者として必要な環境・安全に対する知識
実技課題 (問題選択方式)	設計実務に関わる計算を主体とした問題が5題出題され3問を選択して解答。出題範囲は、産業機械・荷役運搬機械・化学環境機械がメインとなるがそれ以外の分野から出題される場合もある。
小論文	出題テーマから1つ選択し、1300～1600字程度の論文を作成

2 級機械設計技術者

機械設計分野	機構学、機械要素設計、機械製図、関連問題
力学分野	機械力学、材料力学、関連問題
熱・流体分野	熱工学、流体工学、関連問題
材料・加工分野	工業材料、工作法、関連問題
メカトロニクス分野	制御工学、デジタル制御、RPA、自動化技術、他
環境・安全分野	環境安全の知識
応用・総合	機械工学基礎の設計への応用・総合

3級機械設計技術者

科 目	○機械工学基礎 機構学・機械要素、材料力学、機械力学、流体工学、熱工学、制御工学 工業材料、工作法、機械製図
-----	--

(4) 受験資格

受験をするためには、**令和8年3月の時点（見込み）**で下表「受験資格一覧表」の実務経験を充たしていることが必要です。

受験資格一覧表

最終学歴		実務経験年数				3級
		1級		2級		
		直接受験	2級取得者	直接受験	3級取得者	
工学系	大学院・大学	5年	2級取得後、次年度から受験可能	3年	2年	実務経験不問
	短大・高専 専門学校	7年		5年	3年	
	その他（上記以外）	10年		7年	4年	

- ※1. 職業能力開発総合大学校（旧職業訓練大学校）・職業能力開発大学校・高専専攻科・高度専門士は4年生大学卒業として、また、職業能力短期大学校（旧職業訓練短期大学校）は短大卒業として扱います。
- ※2. 高校卒業後の職業能力開発校（旧職業訓練校）2年制卒業者は、専門学校卒業として扱います。
- ※3. その他、受験資格に該当しない受験者の扱いについて審査委員会で適宜検討を行い決定します。
- ※4. 1級直接受験の場合、（一社）日本機械設計工業会指定の職務経歴書を提出していただき受験資格審査を受けていただく必要があります。

【1級直接受験手続方法】

上記「受験資格一覧表」の直接受験に必要な実務経験年数を充たしており、かつ、（一社）日本機械設計工業会（以降、工業会と記す）指定の職務経歴書を提出し、受験資格審査で受験資格を認められた者は2級資格取得後でなくても1級を受験することができます。1級直接受験手続の流れは下記の通りです。

1. 職務経歴書の提出 → 2. 審査料支払い → 3. 資格審査 → 4. 審査結果報告
→ 5. 受験資格承認 → 6. 受験申請（WEB申請）

・当団体指定の職務経歴書の入手方法

工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> に接続しダウンロードして下さい。

・提出方法

郵送・宅急便・スキャナで画像化（PDF化）しEメール送付も可

提出期間 令和7年度受験希望者は 令和7年9月26日までに手続きのこと

・資格審査料

5,500円（消費税込み。支払方法は別途マニュアル参照）

※資格審査料は、資格審査が承認されない場合でも返金されません。

※支払手数料等は、審査提出者の負担です。

※領収書は発行しておりません。

・審査結果通知方法

審査料の入金を確認次第、速やかに審査を行い原則Eメールで通知、希望によりFAX・郵送でも対応します。その際、承認された方には「承認No」を同時に通知します。

2. 受験料について

(1) 受験料 (いずれも消費税込み)

受験区分	受験料
1級	33,000 円
2級	22,000 円
3級	8,800 円

(2) 受験料納入方法

- ①受験料の払込は、指定の金融機関をご利用下さい。
 - ②入金の際の手数料は、受験者負担です。
- 詳細は、「デジタル団体申請マニュアル」を参照ください。

※領収証の発行はしていません。金融機関の振込み控え(利用明細)を合格発表まで大切に保管しておいて下さい。

合格者に対する受験料補助制度がある企業では、その申請には受験料払込みの控え(利用明細)が必要になる場合があるようです。これをなくしてしまうと申請が難しいと聞きますので、該当される方は特に厳重な保管をお勧めします。

3. 申請手続き・合格発表

(1) 申請手続きに必要なもの

- ①デジタル団体受験申請書 (Excelデータファイル)
工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> よりダウンロード。
- ②申請者個人の顔写真デジタルデータ
申請時に必要になりますので予め用意しておいてください。
・ファイル名には、それぞれ「個人名」と「通し番号」(Excel入力時に割振られる番号)を付けていただきます(どなたの写真であるかが分かるように)。
※詳細は「デジタル団体申請マニュアル」を参照のこと。

(2) 受験申請時、提出が必要な書類がある場合の送付先

- (一社) 日本機械設計工業会 試験センター 宛
※詳細は「デジタル団体申請マニュアル」を参照のこと。

(3) 受験資格審査の結果通知 (1級、2級)

- ①2級取得後の1級申請者に対しては「2級認定 No.」の照合により、2級申請者に対しては最終学歴・実務経験年数等に基づき、受験資格を満たしているかを審査します。受験資格を満たし受験申請を正式に受理された者には、受験票を発行し受験者に送付します。
 - ②受験資格審査の結果、受験資格が満たされていない者には、その旨を通知し受験料を返却いたします。(返却手数料は受験者負担となります。)
- ※上記の受験資格審査は、1級直接受験手続の資格審査とは異なります。

(4) 受験票の取扱い

- ①申請者の受験票・会場案内等は、受験料納入確認後、郵便またはポストイン便にて団体申請代表者宛にまとめて送付します。
- ②受験票発行後の受験会場の変更は、原則認めません。
- ③受験票は、大切に保管しておき、試験当日必ず持参して下さい。
- ④受験票を持参しない場合は、試験を受けられない場合があります。
- ⑤試験に関する一切の処理は、受験票に記載されている受験番号に基づいて行われますので、受験番号は必ず控えておいてください。

(5) 合格発表

- ①工業会ホームページ <https://www.kogyokai.com/> の、マイページで各自合否を確認。また、受験者自身が「団体申請代表者に合否を公開する」を選ぶと、団体申請代表者マイページ上で、該当する受験者の合否を確認いただけます。
- ②団体申請代表者には、別途合格者氏名を記した合格通知を書面にてメール送付します（不合格者の氏名は記載されません）。
- ③後日、団体申請代表者宛に、合格者の認定証・ライセンスカードがまとめて送付されます。
- ④合否に関する問い合わせには一切応じられませんので予めご了承ください。

4. 試験実施要項

(1) 試験実施日と申請受付期間

試験実施日	令和7年11月16日（日）
申請受付期間	申請開始：令和7年 7月18日（金） 申請終了：令和7年10月10日（金）※入金期限も同日

(2) 受験地

	受験地		受験地		受験地		受験地
01	北海道	07	大阪	13	熊本	19	石川
02	青森	08	広島	14	沖縄	20	宮城
03	東京	09	香川	15	山口		
04	埼玉	10	愛媛	16	福井		
05	愛知	11	福岡（市内博多区）	17	静岡		
06	富山	12	福岡（京都郡苅田町）	18	滋賀		

※受験地は、やむを得ず変更や中止となる場合があります（新型コロナウイルスの影響などにより）。
受験地の詳細などはホームページをご確認ください。

(3) 時間割

① 1級

	時間	科目
第1時限	9:30~11:40	設計管理関連課題、機械設計基礎課題、 環境経営関連課題
第2時限	12:40~14:40	実技課題（問題選択方式）
第3時限	15:00~16:30	小論文

② 2級

	時間	科目
第1時限	9:30~11:40	機械設計分野、熱・流体分野、メカトロニクス分野
第2時限	12:40~14:40	力学分野、材料・加工分野、環境・安全分野
第3時限	15:00~16:30	応用・総合

③ 3級

	時間	科目
第1時限	12:00~14:00	機構学・機械要素設計、流体工学、工作法 機械製図
第2時限	14:20~16:20	材料力学、機械力学、熱工学、制御工学 工業材料

(4) 試験実施日当日**①試験場に持ち込みできるもの**

- ・受験票（持参必須）
- ・鉛筆（HB又はB推奨。シャープペンシルも可）
- ・鉛筆削り（電動式は使用できません。）、消しゴム
- ・スケール、三角定規、分度器、中コンパス
- ・腕時計（通信機能が利用可能なスマートウォッチ類は、腕から外して机の上（受験票横）に置くこと。ただし教室に時計があり、誰からも見える場合はカバンにしまうこと）
- ・関数電卓（持参必須）
関数電卓を必要とする問題が出題される場合があります。但し、携帯電話、スマートフォン等の電卓機能は使用不可です。

②当日注意事項

- ・原則、車での来場禁止。
- ・特に1・2級受験者の方は昼食持参を推奨。

【申請に関する注意事項】

①デジタル申請必要書類の提出（Excelファイル、および顔写真ファイル）は、申請受付期間内におこなって下さい。その他受験料入金期限など、それぞれ期限内に入金や手続きが完了していないと、申込みが無効になったり、書類不備により受験資格なし（受験料返還不可）、となる場合があるので十分に注意してください。

②（正式なかたちで申込みと受験料入金完了している前提で）受験資格審査の通知結果または受験票が令和7年10月20日（月）までに到着しない場合は、下記までお問合せ下さい。試験実施日直前になると対応できない場合があります。

（一社）日本機械設計工業会 試験センター TEL 03-6222-9310

③一人団体申請（1名で団体申請手続きを行う）が届いた場合

申請者には受験の意思があるとみなし、次のように処理させていただきます。

- ・提出期限まで余裕がある場合は、個人として再申請（Web上の個人申請）をお願いします。
- ・提出期限まで余裕がない場合は、工業会サイドで代理入力をし、個人申請として受理。以降、個人申請と同様の手順で申請手続きを行っていただきます。

主催：（一社）日本機械設計工業会

<https://www.kogyokai.com/>

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番4号 新川エフ2ビルディング4階

TEL 03-6222-9310 FAX 03-6222-9315 k-siken@theia.ocn.ne.jp